【委託要項：様式C（別添）】

子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業

山辺の道周辺を散策し、植物の遷移や紅葉の仕組みを知り、また砂防ダムについて学ぶ

関西支部長　篠部幸雄　指導者グループ代表　新井博子

【事業のポイント】

〇砂防ダムの存在と役割を知る
〇植物の遷移を知る
〇環境保全について学ぶ
〇山の辺の道を歩き歴史を知る

白山山頂：樹木説明と集合写真

1. 事業の趣旨

（1）趣旨

小学校の学習指導要領における自然体験活動を通じた教育課程の趣旨を確認しつつ、何より、子供たちが楽しく、安全に、そして、主体的に目標達成に向かって活動できるよう企画され、地域を担う人材の育成につながる。全国的かつ継続的な自然体験活動推進事業を実施することにより、子供たちの健全な心身を育む。

2. 実施概要

（2）開催実績

月日	場所	参加者数	日帰り・宿泊	経費	主な活動
12月13日	桜井市、三輪山周辺（巻向川、白山、檜原神社、山辺の道）	22	日帰り		三輪山周辺の巻向川沿いと山辺の道の散策と白山（しろやま）登山により、森林、樹木観察とその地の歴史を知る
／					
／					
／					
／					
／					

※必要に応じて枠を広げたり、行を増やしたりするなどして記載してください。

（3）具体的な取組の概要
巻向川沿いを歩き、荒廃砂防ダムの存在と役割を確認する。また生活ゴミ廃棄の状態から、環境保全・水質保全の大切さを考える。 白山登山中、陽樹と陰樹、植物の遷移を知る 山の辺の道を歩き古人に想いをはせ、ご神体山としての三輪山について知る。

３．成果と課題

（1）事業の成果と課題
巻向川沿いを歩く途中、散乱する生活ごみを身近に見て感じることで自然保全に対する意識の醸成につながったと思う。また偶然イノシシの屍骸に遭遇し、自然界における生物の生死についても考えることができた。白山登山中、標高差による植生の変化について紅葉を例にとり学習した。また歩行中、目に付いた植物（特にフユイチコ）を直接手に取り、山野に生える植物を五感で感じることができた。山は長い年月を経て作られることを白山の地質から感じ取ることができた。山の辺の道を歩くことで古代神話の歴史に触れることができたと思う。